

地方自治法施行令第167条の2第1項第2号 により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>特定の者でなければ供給することができないものを調達するとき。</p>	<p>1 調達する財産や役務等の内容及びその特殊性</p> <p>本工事は、県庁舎No.1 受電盤に内蔵されている非常用発電機自動起動回路が正しく動作しないため、その原因を特定し、正しく動作するよう回路を改修するものである。</p> <p>当該設備は、メーカーの高度な技術にて設計・製作されたものであり、その内容を熟知した者でなければ、改修を行うことはできない。</p> <p>また、このままでは庁舎停電時に非常用発電機が自動起動しないため、危機管理上、速やかに改修を行う必要がある。</p> <p>2 特定の者以外の者が供給することができないことの説明</p> <p>上記の特殊性のとおり、当該設備(非常用発電機自動起動回路)を熟知している者でなければ、改修工事を適切かつ迅速に行うことができない。</p> <p>以上の理由により、本工事に実施することができるのは、当該設備を設計・製作し、また、設置工事を行った「日新電機株式会社 中部支社」1 者のみである。</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。